(別添様式1)

### 未承認薬・適応外薬の要望

## 1. 要望内容に関連する事項

# # *	E * ^			
要望者	☑学会			
(該当するも	(学会名; 日本小児救急医学会 )			
のにチェック	□患者団体			
する。)	(患者団体名; )			
	口個人			
	(氏名;	)		
優先順位	4	位(全 4 要望中)		
	成 分 名	Ketorolac tromethamine		
	(一般名)	(注射液)		
	7,70	Toradol Injection,		
	販 売 名	-		
		Ketorolac tromethamine (ジェネリック)		
	会 社 名	Roche(英国)、米国ではジェネリック商品として販売		
		(Baxter Healthcare Corp、その他)		
	国内関連学会	(選定理由)		
要望する医薬品		,,_,_,		
		▼ 未承認薬		
		2009年4月以降に、FDA又はEMAで承認されたが、国内で承認されていない医薬品		
	未承認薬・適応外	▶上記以外のもの		
	薬の分類	一		
	(該当するもの	□ 適応外薬		
	にチェックす る。)			
		医師主導治験や先進医療B(ただし、ICH-GCP を準拠できたものに限る。)にて実施され、 結果がまとめられたもの		
		□上記以外のもの		
	<b>热松,热田</b>			
要望内容	効能・効果	中等症から強い急性疼痛(FDA: moderately severe		
	(要望する効			

	\\\\	1		
	能・効果について記載する。)	acute pain)に対して		
		静脈内投与・筋注		
	用法・用量	初回投与量: 0.5 mg/kg (最大量 30 mg)		
	(要望する用	追加投与量: 0.25 – 0.5 mg/kg、6 時間間隔で。		
	法・用量について	成人での一日の最大量 120 mg		
	記載する。)	5日間を超えない		
		o A II, e les cur		
	(該当する場合	□小児に関する要望		
	はチェックす	(特記事項等)		
	る。)			
希少疾病用医				
薬品の該当性				
(推定対象患	<u>約</u>			
者数、推定方法				
についても記				
載する。)				
国内の承認内	(効能・効果及び用法・用量を記載する)			
容(適応外薬の				
み)				
「医療上の必	1. 適応疾病の重篤性			
要性に係る基	□ア 生命に重大な影響がある疾患(致死的な疾患)			
準」への該当性 (該当するも	□ イ 病気の進行が不可逆的で、日常生活に著しい影響を及ぼす疾患			
のにチェック	□ ウ その他日常生活に著しい影響を及ぼす疾患 (上記の基準に該当すると考えた根拠)			
し、該当すると				
考えた根拠に	(工記の基準に改言	19 3 2 与 え た (水)()		
ついて記載する。)				
J 0 /				
	9 医歯しの右甲ム	4		
	2. 医療上の有用性			
	□ア 既存の療法が国内にない			
	□ イ 欧米等の臨床試験において有効性・安全性等が既存の療法と比べて明らかに優れている			
		いて標準的療法に位置づけられており、国内外の医		
		を踏まえても国内における有用性が期待できると		
	(上記の基準に該当	当すると考えた根拠)		
	欧米などでは、Ket	orolac は、静脈内投与できる非ステロイド系消炎鎮痛薬		
	として、特に手術征	後の疼痛管理など、中等症から強い急性疼痛の管理にお		

	いて使用されている。我が国でもこれが使用可能になると、質の高い疼痛 管理が行える。
備考	

# 2. 要望内容に係る欧米での承認等の状況

2. 要望内容に係	係る欧米での承認等の状況					
欧米等6か国 での承認状況	▼ 米国	▼ 英国 □ 独	国 □仏国 ☑加国 ☑ 豪州			
(該当国にチ	〔欧米等	欧米等6か国での承認内容〕				
エックし、該		欧米各国での承認内容 (要望内容に関連する箇所に下線)				
当国の承認内容を記載す	米国	販売名 (企業名)	Ketorolac tromethamine Injection (Baxter			
る。)			Healthcare Corp など)			
		効能・効果	中等症から強い急性疼痛			
		用法・用量	成人量で 30 mg を静脈内投与、小児量は上記			
			を参照			
		備考	5日を超えない			
	英国	販売名(企業名)	Toradol Injection (Roche Products Limited)			
		効能・効果	中等症から強い急性疼痛			
		用法・用量	成人量で 30 mg を静脈内投与			
		備考				
	独国	販売名 (企業名)				
		効能・効果				
		用法・用量				
		備考				
	仏国	販売名 (企業名)				
		効能・効果				
		用法・用量				
		備考				
	加国	販売名 (企業名)	Toradol Injection (Roche)			
		効能・効果	中等症から強い急性疼痛			
		用法・用量	成人量で 30 mg を静脈内投与			
		備考				
	豪国	販売名(企業名)	Toradol Injection (Roche)			
		効能・効果	中等症から強い急性疼痛			
		用法・用量	成人量で 30 mg を静脈内投与			
		備考				

欧米等6か国	□米国	□英国	□独国	口仏国	□加国	□豪州
での標準的使用状況	「欧 半	[欧米等 6 か国での標準的使用内容]				
(欧米等6か	<del>-                                   </del>				まする第正 下線)	
国で要望内容	 米国	ガイドライ		用門谷(安主	三円分に 関題	
に関する承認		ルイドフィ   ン名				
がない適応外						
<u>薬についての</u> <u>み</u> 、該当国に		効能・効果 (または効				
チェックし、		能・効果に関				
該当国の標準		連のある記載				
的使用内容を記載する。)		箇所)				
		用法・用量				
		(または用 法・用量に <b>[</b>				
		連のある記載				
		箇所)				
		ガイドライン	/			
		の根拠論文				
		備考				
	英国	ガイドライ				
		ン名				
		効能・効果				
		(または効	IB			
		能・効果に関連のある記載				
		箇所)	~			
		用法・用量				
		(または用	_			
		法・用量に関				
		連のある記載   箇所)	义			
		ガイドライン	/			
		の根拠論文				
		備考				
	独国	ガイドライ				
		ン名				
		効能・効果				
		(または効	ı H			
		能・効果に関連のある記載				
		進のめる記載	<b>X</b>			
		用法・用量				
		(または用				
	1	注・田島に関	<b>月</b>			

連のある記載       箇所)       ガイドライン       の根拠論文	
ガイドライン	
の根拠論文	
備考	
仏国 ガイドライ	
効能・効果	
(または効   (または効   )   (または効   )     (または効   )	
連のある記載	
選がある記載   箇所)	
用法・用量	
(または用   (または用   )	
連のある記載	
箇所)	
ガイドライン	
の根拠論文	
備考	
加国 ガイドライ	
効能・効果	
(または効   能・効果に関	
連のある記載	
箇所)	
用法・用量	
(または効	
能・効果に関	
連のある記載	
箇所)	
ガイドライン	
の根拠論文	
備考	
豪州 ガイドライ	
ン名	
効能・効果	
(または効	
能・効果に関	
連のある記載	
箇所)	
用法・用量	
(または用	

法・用量に関 連のある記載 箇所)	
ガイドライン	
の根拠論文	
備考	

- 3. 要望内容に係る国内外の公表文献・成書等について
  - (1) 無作為化比較試験、薬物動態試験等に係る公表文献としての報告状況

< 文献の検索方法 (検索式や検索時期等)、検索結果、文献・成書等の選定理由の概略等 >

1) Pubmed による文献検索、ならびに、小児医療における一般的な教科書やハンドブック

<海外における臨床試験等>

<日本における臨床試験等※>

1) なし

- ※ICH-GCP 準拠の臨床試験については、その旨記載すること。
  - (2) Peer-reviewed journal の総説、メタ・アナリシス等の報告状況

1)

(3) 教科書等への標準的治療としての記載状況

<海外における教科書等>

- 1) Lexicomp (UpToDate) (成人用用量)
  - $http://www.uptodate.com/contents/ketorolac-systemic-drug-information?topicK\\ ey=DRUG\_GEN\%2F9152\&elapsedTimeMs=5\&source=search\_result\&searchTer\\ m=ketorolac\&selectedTitle=1\%7E65\&view=print\&displayedView=full\#$
- 2) Lexicomp (UpToDate) (小児用用量)
  http://www.uptodate.com/contents/ketorolac-systemic-pediatric-drug-informatio
  n?source=search\_result&search=ketorolac&selectedTitle=2%7E64
  小児用量の記載あり (上記の用量・用法に示した)。
- 3) Monitto CL, et al. Chapter 15, Pain Management. *In* Davis PJ, Cladis FP, Motoyama EK Eds. Smith's Anesthesia for Infants and Children, Eighth ed. Mosby Elsevier, Philadelphia, PA, USA, 2011, pp. 418-451. (小児麻酔の代表的教科書)

非ステロイド系消炎鎮痛薬としての Ketorolac の要領の記載あり。

0.5 mg/kg IV or IM Load, Maint 0.2-0.5 mg/kg q 6 h

Maximum Adult Daily Dose 120 mg

Maximum dose 30 mg

Causes gastrointestinal upset and ulcer

Discontinue after 5 days

4) Lee C, et al. Drug Doses. *In* Custer JW, Rau RE Eds. The Harrient Late Handbook. Eighteenth Ed. Mosby Elsevier, Philadelphia, PA, USA, 2009, pp. 698-1030. (小児医療の一般的はハンドブック)

IM/IV Child: 0.5 mg/kg/dose IM/IV Q6 hr Max. dose 30 mg Q6 hr or 120 mg/24 hr

<日本における教科書等>

- 1) 記載なし
- (4) 学会又は組織等の診療ガイドラインへの記載状況

<海外におけるガイドライン等>

1)

<日本におけるガイドライン等>

1)

(5)要望内容に係る本邦での臨床試験成績及び臨床使用実態(上記(1)以外)について

1)

(6) 上記の(1) から(5) を踏まえた要望の妥当性について

<要望効能・効果について>

1) 中等症から強い急性疼痛に対して(非ステロイド系消炎鎮痛薬)

<要望用法・用量について>

1)静脈内投与・筋注

初回投与量: 0.5 mg/kg (最大量 30 mg)

追加投与量: 0.25-0.5 mg/kg、6時間間隔で。

成人での一日の最大量 120 mg

5日間の使用に限定

<臨床的位置づけについて>

1) 現行の急性期の疼痛管理において管理が困難な強い疼痛に対する選択肢となりうる。麻薬であるモルヒネと効果を比較した2つの研究からは、モルヒネと同等の効果を示しうる。麻薬とは作用機序が異なる(非ステロイド系消炎鎮痛薬)ため、強い急性疼痛で麻薬で管理困難な症例で、適応となりうる。

## 4. 実施すべき試験の種類とその方法案

1)

#### 5. 備考

<その他>

1)

#### 6. 参考文献一覧

- 1) Lexicomp (UpToDate) (成人用用量)
  http://www.uptodate.com/contents/ketorolac-systemic-drug-information?topicK
  ey=DRUG\_GEN%2F9152&elapsedTimeMs=5&source=search\_result&searchTer
  m=ketorolac&selectedTitle=1%7E65&view=print&displayedView=full#
- 2) Lexicomp (UpToDate) (小児用用量)
  http://www.uptodate.com/contents/ketorolac-systemic-pediatric-drug-informatio
  n?source=search\_result&search=ketorolac&selectedTitle=2%7E64
- Monitto CL, et al. Chapter 15, Pain Management. In Davis PJ, Cladis FP, Motoyama EK Eds. Smith's Anesthesia for Infants and Children, Eighth ed. Mosby Elsevier, Philadelphia, PA, USA, 2011, pp. 418-451.
- 4) Lee C, et al. Drug Doses. *In* Custer JW, Rau RE Eds. The Harrient Late Handbook. Eighteenth Ed. Mosby Elsevier, Philadelphia, PA, USA, 2009, pp. 698-1030.